

経営の全体像と2035年の「ありたい姿」

京都のグローバルヘルスケアカンパニーとして、 一人ひとりの新しい生きるを世界に届ける会社

環境変化が激しく先が見えない今、必要とされているのは、新しい幸せのカたち、新しい生き方についての探求であると考えています。

すべての人々が、幸せに“生きる”ことができる、そんな世界を創りたいという強い信念を持つ、日本新薬。これまでも“生きる”ということに本気で向き合い、前例のない難しい課題にも果敢に挑戦してきた、日本新薬。京都に根付く進取の精神で時代を切り開くというベンチャースピリッツを引き継ぐ、日本新薬。

そんな日本新薬だからこそ創れる、新しい未来があります。

多様な考え方や生き方が存在する中で、“生きる”ということを全社員で考え、既存の製品・枠組みにとらわれずに世界に向けて価値を提供することで、世界中の人びとの“生きる”に貢献することを目指します。

経営理念

人々の健康と豊かな生活創りに貢献する

2035年の「ありたい姿」

経営方針
サステナビリティ方針
2023年3月策定

- ・「ありたい姿」を実現するための基本方針
- ・サステナビリティ経営推進の姿勢を明確にするための方針

NS Mind
行動指針

- ・すべての社員が目指す姿勢・意識
- ・仕事を進めるうえでの指針

マテリアリティ
2023年3月見直し

- ・社会とともに持続的に成長するための重要課題

経営計画

第七次5か年中期経営計画
(2024年度～2028年度)

- ・「ありたい姿」に向かって成長するためのシナリオ

マテリアリティと第七次5か年中期経営計画の関係

2035年の「ありたい姿」を実現し、成長するためのシナリオとして、日本新薬は第七次5か年中期経営計画を策定しました。社会とともに持続的に成長するための重要課題として定めた5つのマテリアリティと中期経営計画の「3つの重点テーマ」「5つの経営基盤の強化」を連動させながら、社会に価値を提供し、持続的に企業価値を向上させていきます。

